

一般財団法人京都ボーイスカウト振興会
平成 26 年度（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日）
事業報告

1. はじめに

当法人の事業内容は、(1)ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業、(2)青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業、(3)指導者養成のためのプログラム企画運営事業、(4)国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動のための共催事業、(5)ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業です。

平成 26 年度は、ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業として、日本ボーイスカウト京都連盟（以下「京都連盟」という。）への助成協力 1,300 千円を支出しました。

さらに、指導者養成のためのプログラム企画運営事業においては、平成 27 年 3 月 8 日に、「京都スカウト活動報告会 2015－青少年のためのリーダーシップトレーニング」と題して、スカウト自身が体験と夢を語り、ボーイスカウト活動についてプレゼンテーションを実施する事業に参画しました。当法人が所有する広河原野営場は、24 日間、のべ人数 462 名の使用実績となりました。

2. 事業報告の内容

(1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業

(ア) 助成の対象

京都府下において、ボーイスカウト運動の趣旨を理解し、組織的にボーイスカウト運動を行う団体として、京都連盟を助成対象とした。

(イ) 助成の趣旨・用途

ボーイスカウト運動にかかる講習・実修・研修・キャンプに要する経費、世界ジャンボリー・日本ジャンボリー・京都キャンポリー及びベンチャースカウト大会へのスカウト派遣に要する経費、その他ボーイスカウト運動に欠くことができない重要な行事のために必要となる経費

(ウ) 事業実績

事業費として、1,300 千円を支出した。京都連盟の進歩費、国際費、安全費、環境費、コミッションナー費、イベント費、ボーイスカウト講習会及びウッドバッジ実修所・研修所運営費等に必要となる事業費の一部に対して助成した。

(参考) ボーイスカウト講習会の実施状況

名称	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
期日	6 月 15 日	10 月 19 日	11 月 23 日	3 月 1 日
会場	宇治市 中央公民館	西京区役所	舞鶴市 由良川学園	上一条寺集会場

(参考) ウッドバッジ実修所・研修所の実施状況

名称	WB研CS 京都第36期	コミッショナー研修所 京都第6期	第1回安全セミナー	第2回安全セミナー
期間	5月4-6日	11月22-24日	6月15日	2月22日
会場	花背山の家	龍谷大学セミナーハウス	京都連盟会議室	京都連盟会議室

(2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業

(ア) 体験活動の所在地

広河原野営場：京都市左京区広河原尾花町27番地

(当法人所有：山林22,559平方メートル、原野521平方メートル)

(イ) 体験活動の運営主体

京都連盟

(ウ) 体験活動に参加が予定されている対象者

青少年の育成を目的とした組織団体に無償提供する。

(エ) 体験活動に参加した対象者、使用月日、使用人数等

使用者	使用月日	使用人数	備考
山開き	4月5-6日	48	サポート委員会
野営場整備	7月5-6日	40	サポート委員会
京都第68団	6月15-16日	44	B S 隊
京都第29団	7月26-27日	32	B S 隊
京都第42団	7月14-17日	60	B S 隊
冬こもり	12月6-7日	28	サポート委員会
京都第55団	1月25日	15	B S 隊
京都第68団	2月7-8日	36	B S 隊
京都第55団	2月15日	13	B S 隊
京都第47団	3月7-8日	34	B S 隊
京都第47・72・82団	3月26-29日	112	B S 隊
合計	24日	延462名	

(オ) 事業実績

広河原野営場建物の減価償却費80,730円・固定資産税4,300円が主な費用実績である。

(カ) 広河原野営場近隣における舎営施設土地建物の取得について

現在、広河原野営場の近隣に舎営施設土地建物を取得又は賃借すべく、所有者との協議を継続中である。

(3) 指導者養成のためのプログラム企画運営事業

(ア) 趣旨

青少年の育成を指導する人としての素養を涵養するために、企業人、教育者等の有識者を講師に迎え、青少年の育成を指導する立場にある一般の参加者に対して、講演会を実施するものです。

(イ) 内容

『京都スカウト活動報告会 2015—青少年のためのリーダーシップトレーニング』スカウト自身が語る体験と夢の語り、ボーイスカウト活動のプレゼンテーションを行った。

(ウ) 開催場所

京都アスニー

(エ) 開催日時

平成 27 年 3 月 8 日（日）15 時～

(オ) 参加者

青少年及び育成指導者を中心に参加

(カ) 講演会事業費実績

事業費として、29,500 円（会場費）を支出した。

(4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のための共催事業

(ア) 国際交流・国際貢献活動支援

ボーイスカウトを対象に海外キャンプへの派遣、国際協力プロジェクトの派遣実施等

(イ) 社会に役立つ事業活動支援

一般青少年を対象にした青少年元気サポート事業（アウトドアチャレンジ）
全国都道府県対抗女子駅伝競走大会、全国車いす駅伝競走大会、視覚障害者マラソン京都大会の沿道整理奉仕

(ウ) 環境まち美化活動支援

「みどりの募金」活動、京都市「まち美化運動」に参加

(5) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業

(ア) 地域の不特定多数の青少年に対するボーイスカウト運動の普及宣伝を図る事業として、ホームページを通じて、スカウトの日（ゴミ拾い等の奉仕活動を実施する日）等に地域の青少年の参加を促す。

(イ) ボーイスカウト・指導者等のボーイスカウト関係者、維持会員、並びに不特定多数の皆様に対して、ホームページを通じて、当法人の事業計画等・京都連盟の事業計画等を適時に適切な範囲でディスクローズし、健全な運営を行う。

(ウ) ボーイスカウト運動の振興を図るために維持会員及び潜在的な維持会員に対して、ホームページを通じて、会費の協力を依頼する。

(エ) 事業費実績

事業費は、431,116 円（普及宣伝費 24,000 円、ホームページ運営改革費 388,800 円、通信運搬費 17,236 円、雑費 1,080 円）を支出した。

3. 財源の確保（賛助会費の入金状況）

賛助会費の入金内訳は以下の通りです。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
賛助会費	2,230 千円	2,310 千円	2,190 千円	2,080 千円

賛助会費の受取会費合計の推移については、平成 24 年度は 12 ヶ月換算では 2,310 千円に増加したものの、平成 26 年度は、2,080 千円と前年度比 110 千円の減少となった。

引き続き、役員の方には、21 世紀を担う青少年の健全な育成の場としてのボーイスカウト運動を、地域社会の方々の認識を高めるのにご尽力をいただき、広く財政的援助を頂戴していただけるように努力して頂き、維持会員数の拡大に一層のご協力をお願いする次第であります。

以上